



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)



「ご遺族手続き支援コーナー」の利用状況と業務内容及びさらなる環境整備について

問 開設からの利用者数の推移について。

部長 令和2年度は296人、それ以後も増加を続け、令和6年度は524人、令和7年度は2月末現在で667人と大幅に増加している。

問 手続時間と効率化について。

部長 通常半日程度の時間を要するところを2時間程度で手続を終えることができる。

問 市民課横のリフレッシュルームをご遺族手続き支援コーナーに改装することについて。

部長 改装は難しいが、仮設ではなく適切なスペースを設けていくことを検討していく。

市役所本庁舎正面と北側駐車場脇の池（水景施設）の有効活用について

問 現状認識と維持管理状況について。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(明和)



使用済み紙おむつ再資源化について

問 生ごみ対策以上に使用済み紙おむつの再資源化を最優先課題として位置づけるべきと考えるが、市の見解は。



部長 使用済み紙おむつの再資源化を推進している市町村が現れつつあり、国のガイドライン作成、県のリサイクル研究会設置などから、生ごみの分別も検討しつつ、使用済み紙おむつの分別収集・資源化を優先することが効果的と考えており、計画の中間見直しで今よりも一歩踏み込んだ検討を考えていきたい。

問 介護施設等からの事業所先行モデルを導入し、再資源化の具体的な道筋をつけるべきと考えるが、検討状況と今後の方向性は。

部長 介護施設等からの使用済み紙おむつは分別されていることが多く不純物の混入も抑えら

部長 漏水や循環ポンプの故障により令和5年より現在の状態となっている。転落防止対策としてフラワーポットを設置している。

問 活用方針と具体的なアイデアを伺う。

部長 安全性はもとより、多くの課題への対策を考慮し、スペースの検討を重ねていく。



【提案】本庁舎正面と北側駐車場脇の池の芝生化イメージ

障がい者就労選択支援事業の展開について

問 当市の実施状況を伺う。

部長 本市には、現在、就労選択支援事業所が2事業所ある。このうち、1事業所は、この3月に県から指定を受けたばかりである。利用者の累計は、令和8年2月末時点で18人である。御本人の希望や適性、能力に合った就職先や就労支援サービスを選択できるよう、サポートする体制づくりに努めていく。

れるため、再資源化に取り組みやすい。事業所先行モデルも含め、他市等の事例を研究・分析しながら検討していきたい。

意見 中間見直しが単なる振り返りで終わらないよう、使用済み紙おむつの優先度が確認できた。引き続き前向きな取組をお願いする。

法定外目的税^{*1}で描く行政デザインについて

問 本市の観光資源を生かし、宿泊税や環境税といった法定外目的税の導入を本格的に検討すべきではないか。



部長 法定外目的税は、課税の必要性や効果について厳格な検証を要するものであり、安易に導入するものではなく、慎重かつ丁寧に判断していくべきである。

部長 令和8年度から始まる観光基本計画の中で、宿泊税については県が進めている部分を注視しながら研究にあたって進めていく必要がある。

意見 税というのは政策調整の手段という考え方を申し上げたかったわけである。